

# 雇対協 ニュース

2013年 第102号 (平成25年1月)



朝霧に浮かぶ天空の城竹田城 (兵庫県朝来市)

神戸雇用対策協議会・東神戸雇用対策協議会

<http://www.kobe-koyo.gr.jp/>

## 目次

目次 表紙解説	2
ごあいさつ（両会長）	3
ごあいさつ（両所長）	4
神戸地域雇用管理研修会	5
障害者雇用フェスタひょうご2012	6
障害者合同職就職面接会	7
応援フェア in KOBE 2013	8
神戸地域雇用管理研修会	9
神戸マラソン	10
ワールドビジネスサポートの障害者雇用の取組	11
年賀状	12

### ❖ 表紙説明 ❖

10数年前「この上の山に貴殿の好きな城がある」と朝来町の人々に言われて、山道を登る、現在おもての道は工事中だから裏道から険しい山道を草をかき分けて上へ上へと登る、途中で登山道が草で覆われて登れなくなったので途中で城を目前で引き返した思い出がある。そして円山川と県道路の東の対岸の桜丘に自動車で上がりこの風景に出合った。そして4～5年してから自動車道が完成したと地元の人に聞いたので自動車で途中まで走ると15台位の広場がありそこに駐車して質素な城門くぐり登る。豪壮な石垣から当時を偲ぶ大きな天空の城、高さ353m余、全国屈指の名高い「天空の城」「日本のマチュピチュ」との異名を持つ竹田城跡は15世紀半ばの嘉吉年間但馬守護の山名持豊（宗全）が出石城の出城として以来秀吉に滅ぼされるまで、豪壮な石垣の面影が約400年を経た今なお残る。先日地元の人からこの城の城門が移築している旧家があると聞いたので見に行くと旧家の正門として立派な城門の構えの家があるのを見た。次に朝来町（現在は朝来市）を訪問したときにはその城門と旧家を見学させていただく予定です。

関西版画連盟会員 住 本 禮 隆



神戸雇用対策協議会  
会長 能 崎 晴 夫

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、国内、国際的に政治、経済の両面に於いて変化の年でありました。雇用と直接関係する経済状況は東日本大震災復興により関西地域にも技術者不足と資材の供給により少しは良い影響があるものと期待しておりましたが、原発の放射線の問題や政策の後れ等が有って予算執行が停滞して期待外れとなりました。

対外的には、ユーロ圏の経済の不安定が新興国の経済成長に陰りをもたらし、世界経済にも暗い影を落として日本国もその影響されるところとなりました。特に関西の経済は新興国との関係が深く、その上パナソニック、シャープのような大企業に経営不振が表面化し、9月には尖閣諸島の問題で中国との関係悪化が経済に影響して12年は厳しい経済状況の年であったように思います。

新卒者就職については、年度初めは好転の兆しが見えてきましたが、その後円高もあって厳しくなり、学生も大企業志願から中小企業にも目を向けるようになって、結果として、まずまずの結果のようです。しかし報道されているところによると2～3割の学生が定職に就かないとの事で将来が案じられる現象が表面化した年でありました。

私の会社でも感じられる事ですが、少子化時代に育ち恵まれた環境に育ったこともあって、宛がわれる事に慣れて、自立心に乏しく、言われた事はするが創意工夫力に陰っているようです。

資源が乏しい中、勤勉と教育の高さで戦後世界2位の経済力にまでなった日本国も将来を案じられる事柄が多く発生しておりますが、もう一度将来を考えて指導者を始め大人達が現状を認識して社会的な使命の下で頑張る必要があるようです。

高齢者雇用の定年延長については、人間働く事は良い事だと思われ、各々の方が職場で、又は社会の中で存在感を持てるようになり、健康にも繋がり、その結果医療費減少にもなるように思われて、雇用者としても社会的に協力する事は当然だと思いますが、財政難により年金支給年齢を引き上げる為では少し寂しい思いを致します。

昨年はいろんな事が多くあって例年より厳しい年であったように思いますが13年は、国、神戸、皆様にとってよい年になりますよう心より祈念致しまして新年のあいさつと致します。



東神戸雇用対策協議会  
会長 柳 澤 好 行

新年あけましておめでとうございます。

会員企業の皆様ならびに職業安定行政に携わる関係機関の皆様方にとって、今年一年が良い年となりますように心よりお祈り申し上げます。

昨年を振り返ると、日本経済は致命的な政策ミスの連続による状況悪化に加え、消費税引き上げ絡みでのマインドの低下により景気は足踏み状態となりました。

デフレにより本来なら物の値段は下がり、生活が潤うはずであるが実際のところ大型家電や車、贅沢品を中心に値段は下がっているものの、日常生活に直結するコストは逆に上昇しており、更に企業の人件費削減の影響により所得の伸びは鈍く、結果個人消費は低迷し続ける状況となりました。

雇用を取り巻く環境は昨年3月時点の高卒者の内定率は86.4%（全国平均）で前年同期より5.3ポイント上昇、大卒者の内定率についても昨年10月時点で63.1%と前年を上回りましたが、まだまだ厳しい状況が続いています。

一方、昨今の就職採用活動において内定を勝ち取る事が目的となり最終的には内定辞退者が増加し、結果企業としては必要な人材が確保できず学生側も本当に入りたい会社に就職出来ないという最悪のケースが増加しているのも企業にとっては大きな問題です。

又、昨年大きな話題となった領土問題等を考えると、今最も大切なことは世界の中で、特にアジア諸国に対して日本の立場を明確にする必要があり、我々企業にとって最も大切なことは日本人としての誇りと自信を持って業績の発展を目指し、企業の将来を担う人材を数多く採用し、育てて行くことであると確信しました。

本年も微力ではありますが、雇用環境改善の一助になるべく当雇用対策協議会の活動強化に取組んで参りますので、どうか今年も会員企業の皆様及び関連機関の皆様方のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。最後になりましたが、関係各位の皆様のみますのご発展と会員の皆様のご健康とご活躍を祈願いたしまして新年の挨拶とさせていただきます。

## 年頭の御挨拶



神戸公共職業安定所  
所長 稲垣輝彦

新年明けましておめでとうございます。

神戸・東神戸雇用対策協議会会員の皆様方におかれましては、新しい年を健やかに迎えのとお慶び申し上げます。

また、旧年中は、ハローワーク神戸に格別の御理解と御協力を賜りましたことを心から深く感謝申し上げます。

昨年は、東日本大震災の影響が残り引き続き厳しい状況にある中で、景気は穏やかに持ち直し傾向が続いていましたが、7～9月期の国内総生産（実質GDP）は、前期比0.9%減（年率3.5%減）と世界景気の減速などの影響を受けて、3四半期ぶりのマイナス成長となっています。

こうした状況を踏まえまして政府では、大震災からの復興と景気の下振れ回避に万全を期すとともに、円高とデフレからの早期脱却と持続的成長路線への復帰に向けて、一体となって最大限の努力を行っているところです。

一方、全国の雇用情勢を見ますと、持ち直してはいるものの、依然として厳しい状況にあり、9月の完全失業率は4.2%、有効求人倍率は0.81倍となりました。

当所におきましては、各企業から申し込みをいただく求人数は、平成22年度以降引き続き増加傾向で推移しており、仕事を求めてハローワークに登録される方につきましては、平成22年度以降は減少傾向で推移していますが、9月の有効求人倍率は0.69倍で、100人の求職者の方に対し69人分の求人しかない状況にあります。

また、当所管内の高等学校を今年3月に卒業される生徒の就職率は、62.6%（10月末現在）で、前年より3.7ポイント改善していますが、依然500名以上の生徒が就職活動を継続しており、厳しい状況にあります。

こうした中、ハローワークでは、一人でも多くの方々の就職に向け、これからも精一杯の取組を行って参りますので、引き続き、皆様方の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

今年1年が会員企業の皆様方にとって幸多き年となりますことを切に願いつつ、皆様方のますますの御発展と御健勝を祈念いたしまして新年の御挨拶とさせていただきます。



灘公共職業安定所  
所長 山岡賢司

新年明けましておめでとうございます。

神戸・東神戸雇用対策協議会の会員の皆様方におかれましては新しい年を穏やかに迎えのとお慶び申し上げます。

旧年中は私どもハローワークに対し格別のご理解とご協力を賜りましたことを心より深く感謝申し上げます。

昨年は欧州債務危機や世界経済をけん引してきた中国経済の減速などにより、管内の景気動向は「なお足踏み状態にあるが、一部に弱めの動きが見られている。」と言われているように明るい材料・話題がなかった一年だったような気がします。こういった経済状況を背景として企業再編・人員整理が数多く行われたところであり、そういった方々の再就職が今年の大きな取組むべき課題であります。

昨年10月1日現在の新規大学卒業予定者の就職内定率が63.1%と前年同期を3.2ポイント上回り、2年連続での上昇となりました。大企業志向というミスマッチから中小企業へのマッチングが進んだことが大きな要因とも言われております。

一方、来春卒業予定の高校生の就職内定率は9月末時点で41.0%（全国）、兵庫県内におきましては10月現在で69.6%という数字になっておりますが、引き続き新卒者の雇用枠の拡大についてご検討いただきますようお願い申し上げます。

私ども職業安定行政におきましては大きな法律改正がありました。希望者全員が65歳まで働き続けられる環境をつくることを目的とした「高齢者等の雇用の安定等に関する法律」、障害者の法定雇用率を1.8%から2.0%に引き上げる「障害者の雇用の促進等に関する法律」、名称も変わり派遣労働者の保護を目的とすることが明記された「労働者派遣事業の適正な運営の確保及び派遣労働者の保護等に関する法律」の3点であります。

会員企業の皆様方におかれましても関心の高いところであろうかと思いますが改正趣旨を御理解いただきますようお願い申し上げますとともに、私どもは引き続き広報・周知等に努め円滑な施行に向け取組んでまいりたいと思っておりますので、今後ともなお一層の御支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、神戸・東神戸雇用対策協議会の会員企業の皆様方の益々のご発展と御健勝を祈念申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

## 神戸地域雇用管理セミナー

平成24年8月8日（水）シマブンビル13階で開催いたしました。

講演は「社員の能力向上、定着率向上のためのワーク・ライフバランス」で内容の濃いお話でした。

講師／布谷 由美子 氏（ワーク・ライフバランスコンサルタント）

参加状況／神戸…13社 14人

東神戸… 7社 9人

計 / 20社 23人

### セミナーに対するご意見、ご感想

- 5～10年すると退職する人も多くなり、人材の育成、モチベーションの向上が不可欠です。ワークライフバランスの意味は仕事の中身を見直すことだと実感しました。
- ワークライフバランス = ワークライフシナジーであり、いきつく所は風土づくりであるという話が参考になった。
- 社員教育の手順が得られたので自社に持ち帰り自社なりに実施したい。
- ワークライフバランスは、一部の人の為だけの福利厚生と思っていました。今の職場でも黙々と長時間仕事をしている人が仕事の出来る人というイメージがありましたが、全くの見当違いであったと思いました。
- ワークライフバランスはタイムマネジメントであることの実践が理解が進められる事例を得ることができました。特にプレゼンテーション力で仕事の勝率を上げるは説得力のあるお話でした。
- 非常にわかりやすいお話でした。組織として実施できる環境づくりを進めることの大切さに気づきました。
- 朝メールなど、いろいろな導入アイテムを教えてください、良かった。
- 知らない知識を知ることができました。



## 障害者雇用フェスタひょうご 2012



●兵庫県知事表彰 優良事業所

生活協同組合コープこうべ 様



●一般財団法人兵庫県雇用開発協会  
理事長表彰 優良事業所

株式会社アシックス 様

平成24年9月7日（金）神戸市産業振興センター3階 ハーバーホールで開催されました。

### 第1部 障害者雇用優良事業所等表彰

表彰式では、兵庫県知事表彰 優良事業所として、生活協同組合コープこうべ 様が受賞されました。又、一般財団法人兵庫県雇用開発協会理事長表彰 優良事業所に株式会社アシックス 様が受賞されました。

### 第2部 障害者雇用促進セミナー

- ◎講演 テーマ 「精神障害者の雇用支援」  
講師 兵庫県精神保健福祉センター  
所長 酒井 ルミ 氏
- ◎説明 内 容 「職場におけるメンタルヘルス対策」  
説明者 兵庫労働局 労働基準部 健康課  
課長 瓜生 祐一 氏
- 内 容 「障害者雇用の現状と課題」  
説明者 兵庫労働局 職業安定部 職業対策課  
地方障害者雇用担当官  
尾崎 郁子 氏

会員企業が、優良事業所として表彰され、講演も中味の濃い有意義な障害者雇用フェスタとなりました。

## 障害者合同就職面接会



- ホテルオークラ神戸「平安の間」会場は広いのですが、応募者が精力的に面接に取り組んでいる様子の写真です。

神戸・明石地域 障害者合同面接会は、9月25日ホテルオークラ神戸で開催されました。企業68社、求職者619名が参加しました。

求人件数は100件、求人数は145人で応募総数は1446人でした。

参加企業は来年障害者の法定雇用率が上がることもあり、今回の面接会で良い人材を確保したいとの思いが強い面接会でした。

求職者も、多数企業が参加していることから、2社、3社と面接を真剣に受けていました。

職業訓練相談コーナー（兵庫県立障害者高等技術専門学院、国立県営兵庫障害者職業能力開発校）では訓練の相談も行っていました。

また、就労支援相談コーナー（神戸障害者就業・生活支援センター）では、就労に向けての相談を行っていました。



- 職業訓練相談コーナー
- 就労支援相談コーナー

上記2コーナーの相談をしている写真です。

## 応援フェア in KOBE 2013

「応援フェア in KOBE 2013」の主催は、神戸商工会議所、兵庫県経営者協会、兵庫県、神戸県民局、神戸市（神戸ワーク・ネットワーク）、兵庫労働局で、10月5日に2013年3月卒業予定の大学・大学院・短大・専門学校生（既卒者を含む）を対象として神戸商工会議所で開催されました。

参加企業 43社 学生等の参加者 292名、今回は面接会ではなく企業のプレゼンテーション（企業説明会）でした。

企業ガイドブックは各社の案内、概要が写真で載せてあり、とても詳しいガイドブックとなっており、応募学生からも、とても分かりやすいガイドブックだと好評でした。



●説明を受けている状況の写真です。

## 神戸地域雇用管理研修会

平成 24 年 10 月 11 日神戸東急インで開催！

●参加企業…72社 ●参加者数…89名

平成 25 年 4 月改正「高年齢者等の雇用の安定等に関する法律」が実施されます。公的年金（老齢厚生年金の報酬比例部分）の支給開始年齢が 65 歳へ引き上げ開始となる平成 25 年度以降に備え、希望者全員が 65 歳まで働ける労働環境の整備のためのセミナーを開催しました。



●講演の写真



●この日の為に作成した封筒

### 第1部

テーマ「65歳まで希望者全員が働くために」で講師は兵庫県社会保険労務士会 田中道弘会長に分かりやすい講演をして頂きました。公的年金と雇用継続給付活用型か、賃金により公的年金に頼らない65歳までの賃金形態を整えるかという対応が必要になるという説明がありました。

### 第2部

テーマ「高年齢者雇用に係る奨励金等」について講師は独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 兵庫高齢・障害者雇用支援センター 奥田 雅代 氏から定年延長等に係る奨励金の概要の説明がありました。

### 第3部

個別の相談会（予約制）が開催され、数社が真剣に高年齢者の対応について相談をされました。

## 神戸マラソン

平成24年11月25日（日）第2回神戸マラソンが開催されました。当日はお天気にも恵まれ、フルマラソン（42.195km）とクォーターマラソン（約10.6km）に、約2万人の市民ランナーが出場いたしました。会員企業様の中にも出場された方がいらっしゃるのではと思います。

今回は「感情と友情」をテーマに開催され、会員企業のカネテツデリカフーズが協賛企業として、フルマラソンの33km地点で自社製品の“ちくわ”をランナーに提供いたしました。

（カネテツデリカフーズ社員の声）

たくさんのランナーの方が一生懸命走る姿に感動をもらいました。皆さんに楽しんでいただき、こういうかたちでの参加ができてよかったです。



●当日は「ランニングてっちゃん」も沿道で



●応援・33km地点で“ちくわ”を提供

## 「障害者雇用促進」取り組みレポート

### (株)ワールドビジネスサポート

(株)ワールドビジネスサポートは、ワールドグループ特例子会社として、企業の社会的責務（CSR）である「障害者雇用」について積極的に取り組み、「社会貢献」を果たすことを会社の大きな使命と考えて取り組んでまいりました。

現在、障害者の方々には、ワールド神戸本社ビルほか東西各事業所において一般事務業務をはじめ、ヘルスキーパー、メールサービス、社員食堂、清掃、商品物流等、様々な業務を担っていただいています。神戸管轄108名・東京管轄63名、合計171名（10/1）となりました。

今後、さらなる展開に向けた新たなテーマに取り組んでいきたいと考えています。

#### 【新たな取り組み】

現在、直営大型店舗での職務開発をすすめています。まだ、近畿・中国圏5店舗、関東圏2店舗ですが、これまでの成功モデルの他店舗展開を目指しています。「店舗特性・個人特性の適応」を見極めながら、慎重にすすめています。



●伊丹イオンモールフラクサス店にて店長・販売員の方々と…



●店舗バックヤードで業務中

#### 【現場の業務風景】

現在は、バックヤードの商品整理、棚入れ、売価変更等が担当業務です。

仕事の出来栄えは、丁寧で見やすいと販売員の方からとても好評です。

さらなる業務拡大の可能性を感じさせてもらっています。

# 謹 賀 新 年



あけまして

おめでとうございます

皆様のご多幸を

お祈りします

本年も昨年と同様に

神戸地域雇用対策協議会の運営に

ご協力頂きますよう

お願いします

●発行所●

## 神戸雇用対策協議会

〒650-0025 神戸市中央区相生町1丁目3番1号  
TEL.362-4578 神戸職安気付

## 東神戸雇用対策協議会

〒658-0033 神戸市東灘区向洋町西5丁目8番  
TEL.857-3872 カネテツデリカフーズ(株)内